

報道関係者各位
(参考資料)

2022年4月21日
株式会社インターネットイニシアティブ

クラウド型データベースサービス「IIJ マネージドデータベースサービス」の 小規模メニューを白井データセンターキャンパスで提供開始

-- 新たに小規模構成で利用できる 12 コア/16GB メモリの低価格なメニューを追加 --

当社は、高性能なデータベースをクラウドサービスとして提供する「IIJ マネージドデータベースサービス」において、Oracle Database のサービスメニューに新たに小規模で安価な品目を追加し、2022年4月27日より提供開始します。本サービスのサーバ設備を、自社データセンターである白井データセンターキャンパス(千葉県白井市、以下白井DCC)に構築し、小規模から大規模までカバーできる新たなメニュー体系のサービスとして提供します。これにより、小規模構成で Oracle を利用したいお客様や、Oracle データベースの設計、構築、運用を行う技術者の確保が難しい中小企業のお客様、さらに重要なデータは国内データセンターに置きたいといったお客様のニーズに対応いたします。

IIJ マネージドデータベースサービスは、高性能なデータベースを提供するクラウド型サービスで、データベースエンジンは Oracle Database と Microsoft SQL Server から選択できます。Oracle Database についてはお客様占有のサーバ機器を、マイグレーションされないサービス基盤より提供します。どちらのデータベースもフルマネージドで提供するため、お客様は、DR(ディザスタリカバリ)構成や冗長構成、バックアップなど複雑なデータベースの運用に煩わされることなく、手軽にご利用いただけます。

今回提供を開始する新メニューの主な特徴は以下のとおりです。

白井 DCC に設備をもつ各種サービスと構内接続が可能

今回新たに白井 DCC にサービス設備を構築することで、同じ白井 DCC 内に設備のあるクラウドサービス「IIJ GIO(ジオ)インフラストラクチャーP2 Gen.2」との高い接続性を提供します。また、本サービスは IIJ プライベートバックボーン上のゲートウェイを経由して、Microsoft Azure や Amazon Web Services(AWS)など、他社クラウドサービスとも低遅延での接続が可能です。

データの保護の観点から重要なデータは国内に保管したいというお客様も、アプリケーションは外資系パブリッククラウドを利用しながら、データは国内クラウドサービスに保管する、といったシステム構成が可能のため、安心してご利用いただけます。

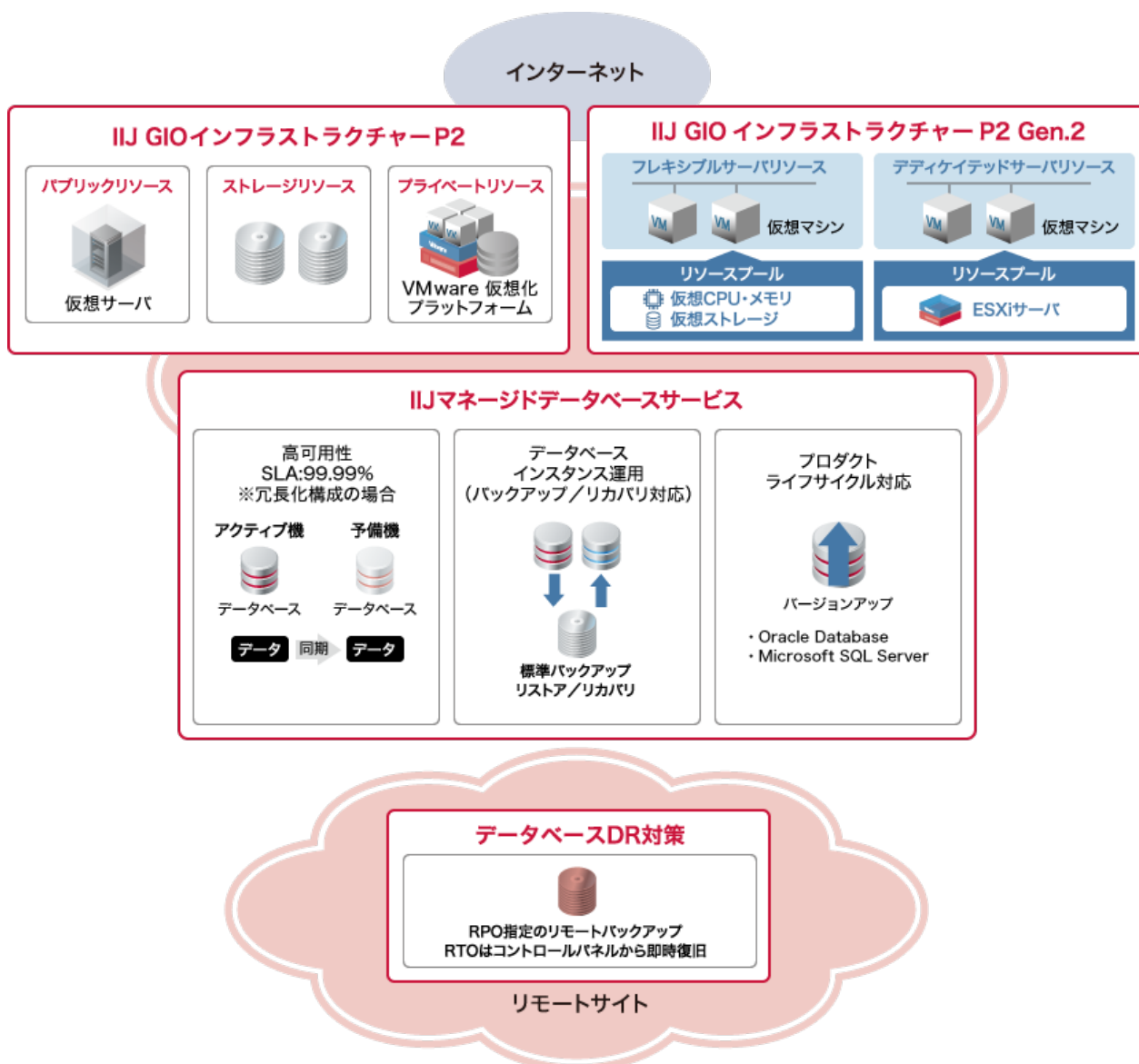
新メニューにより小規模の Oracle 構成が可能

白井 DCC のサービス設備では、小規模から大規模までのニーズをカバーする 3 品目を新たに提供します。従来のサービスにはなかった 12 コア/16GB メモリ 月額 10 万円台の小規模構成、低価格のメニューも加わり、業務システムで Oracle Database の利用が必須だが、データベースの構築や運用を行える技術者がいない中小規模のお客様をはじめ、低コストかつ負荷なく Oracle データベースを利用したいといったお客様にも最適です。

■新メニューのスペックと提供価格

品目		OD-D12-16	OD-D24-96	OD-D24-192
論理コア		12 コア	24 コア	24 コア
メモリ		16GB	96GB	192GB
ストレージ		500GB	500GB	500GB
初期費用		0 円		
月額費用 (税抜)	冗長化なし	103,000 円	166,000 円	226,000 円
	冗長化あり	233,000 円	367,000 円	487,000 円

■サービスイメージ図



- サービスの詳細については、以下サイトをご覧ください。
<https://www.ij.ad.jp/biz/mdb/>

IJ では今後とも、お客様が高品質なデータベースを手軽、かつ安全に活用できるよう、本サービスの機能拡張を積極的に進めてまいります。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、荒井

TEL:03-5205-6310 FAX:03-5205-6377

E-mail:press@ij.ad.jp URL: <https://www.ij.ad.jp/>

※ 本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。